

の間肥厚性硬膜炎が進行し、また髄膜炎後水頭症で急速に症状悪化し、シャント術を繰り返した。同時期後頭蓋窩に多胞性嚢胞が形成されリザーバー設置等を行った。'95. 2. 22 シャント機能不全による水頭症を契機に呼吸状態が悪化し死亡。剖検を行った。

#### 1B-24) 深部型境界領域梗塞発生機序に関する検討

真瀬 智彦・香城 孝麿  
三浦 一之・船山 雅之 (岩手医科大学)  
黒田 清司・小川 彰 (脳神経外科)

大脳深部には、穿通枝と皮質枝で形成される境界領域が存在し、この領域に発症する梗塞は深部型境界領域梗塞と呼ばれ、hemodynamic な機序で発生すると考えられ、日常の診療上まれならず経験される。今回、われわれは、1994年に当科入院となった脳梗塞患者88例の内、皮質下に梗塞巣を認めた症例のCT, MRI, 脳血管撮影、脳循環検査から、深部型境界領域梗塞の発生機序および病態を血行動態や閉塞部位、脳循環の面から検討した。若干の文献的考察を加え報告する。

#### 1B-25) $^{123}\text{I}$ -Iomazenil (IMZ) SPECT によって脳血行再建術の適応が判定された進行性脳卒中の1例

関 隆史・中川原讓二  
武田利兵衛・高橋 州平 (中村記念病院)  
大里 俊明・鷺見 佳泰 (脳神経外科)  
木原 光昭・田中 靖通 (財)北海道脳神経  
末松 克美・中村 順一 (疾患研究所)

IMZ を用いた中枢性ベンゾジアゼピン (Bz) 受容体の SPECT による画像化は、脳虚血下の皮質神経細胞密度の変化を示す指標として臨床応用可能である。そこで、IMZ-SPECT によって脳血行再建術の適応が判定された進行性脳卒中の1例を報告する。症例は63才男性、進行する右不全麻痺、言語障害のため当科に入院。脳血管造影では左中大脳動脈 (MCA) 閉塞症と診断された。MRI 上の脳梗塞は、左基底核及び皮質下白質に限局した。第17病日の  $^{123}\text{I}$ -IMP SPECT (安静時) では、左 MCA 皮質領域の血流低下は中等度であったが、第19病日の同領域の Bz 受容体の低下は、ごく軽度であった。以上より、左 MCA 皮質領域では、脳灌流圧の低下による脳血流の低下をみるものの虚血に伴う皮質神経細胞の脱落はごく軽度と判定され、第22病日 STA-MCA

吻合術が施行された。術後神経症状が改善し、第37病日の  $^{123}\text{I}$ -IMP SPECT では、左 MCA 領域の血流低下は軽度となった。IMZ-SPECT は、脳血行再建術の術前評価に臨床応用可能である。

#### 1B-26) Crossed cerebellar diaschisis の臨床的意義について

深瀬 栄一・山田 潔忠 (山形県立日本海)  
川上 圭太 (病院)

脳梗塞亜急性期の Xe SPECT での Crossed cerebellar diaschisis (CCD) の有無と運動機能の長期予後との関連性について検討した。

対象：片側の大脳半球にのみ病巣を持つ脳梗塞例で、男17、女8の25例で、平均60歳。方法：発症後2日から15日以内に Xe SPECT を測定し、CCD の有無と3ヶ月後の運動機能後遺症の程度について検討した。更に大脳半球での血流分布などについても検討した。結果：CCD は25例中11例に認められ、麻痺の比較的強い症例や小脳症状のある症例にみられたが、麻痺がない2例や軽度麻痺1例にもみられた。麻痺がない軽度の症例では MCA 領域の CBF の左右差が著しかった。CCD の認められなかった症例は麻痺がない10例・軽度麻痺3例・中等度麻痺1例で、中等度麻痺の症例は発症初期には麻痺は強かったが3ヶ月後にはかなり軽快した症例であった。結語：脳梗塞亜急性期での CCD は運動機能の長期予後に相関したが MCA 領域 CBF 低下例では過大評価する傾向があった。

#### 1B-27) 脳血行不全による虚血発作急性期の診断及び、治療の Timing における $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -HM-PAO SPECT の有用性

桜木 貢・三森 研自  
田中 徳彦・中川 端午 (北海道脳神経外科)  
青樹 毅・桐山 健司 (記念病院)  
黒田 敏・数又 研 (北海道大学脳神経)  
宝金 清博・阿部 弘 (外科)

虚血脳の治療は脳組織の不可逆性病変をきたさないよう、あるいは、その病変を最小限にとどめるよう、いかに虚血を解除するかにある。虚血脳の成因の一つである Hemodynamic factor の症例の虚血発作急性期診断および手術の Timing における  $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -HM-PAO SPECT の有用性について retrospective に検討したので報告する。